

洪水・土砂災害ハザードマップ・全域版

中央市は広範囲での浸水が想定されています。
家屋倒壊等はん濫想定区域に含まれる、深い浸水が想定されるなど、
屋内安全確保が行えない区域は早期の立ち退き避難が必要な区域です。
大規模洪水時には、避難所だけでなく、安全な場所にある親戚・知人宅
や宿泊施設（ホテルなど）に避難することも検討しましょう。

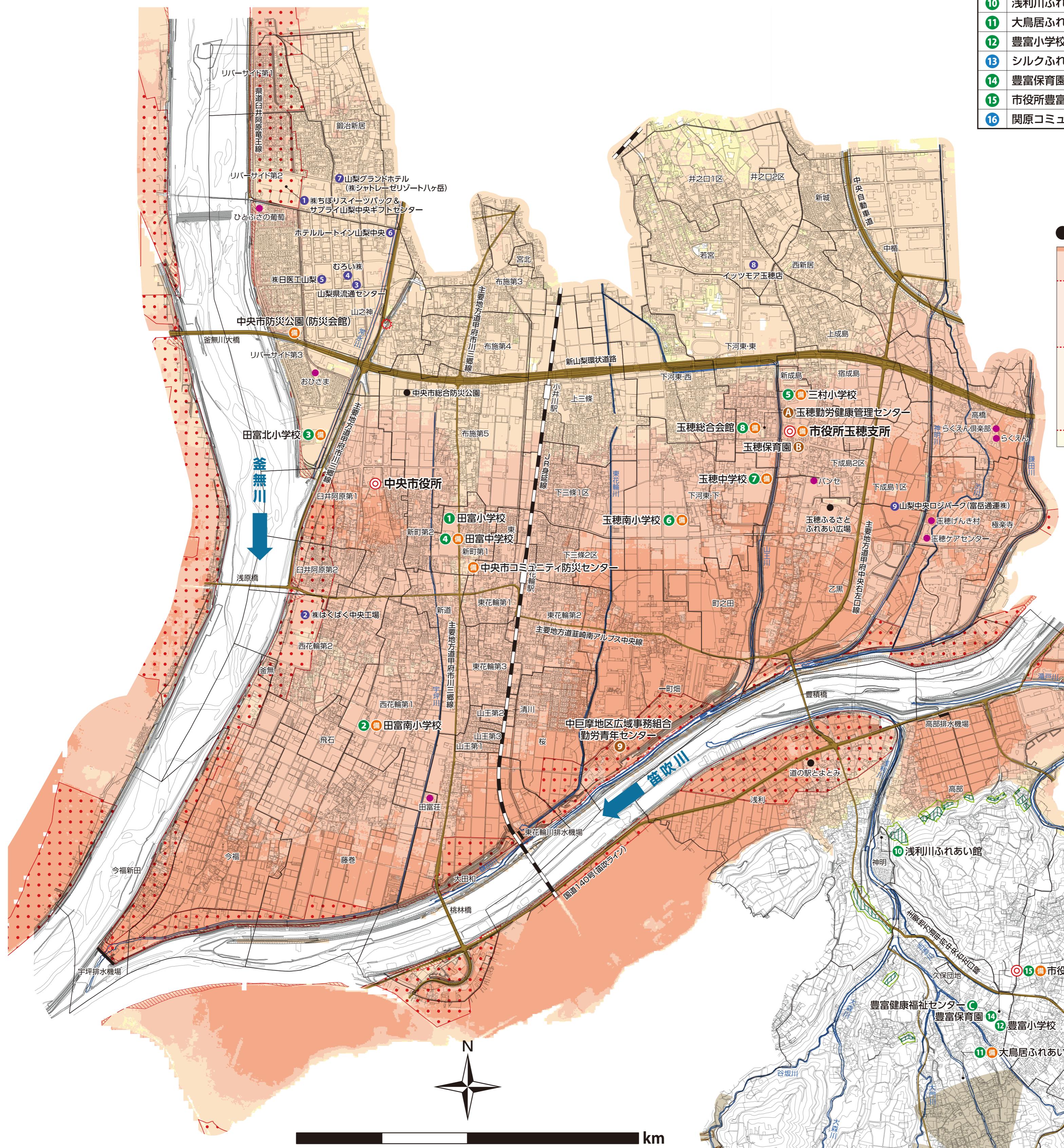
福祉避難所

施設名
A 玉穂勤労健康管理センター
B 玉穂保育園
C 豊富健康福祉センター

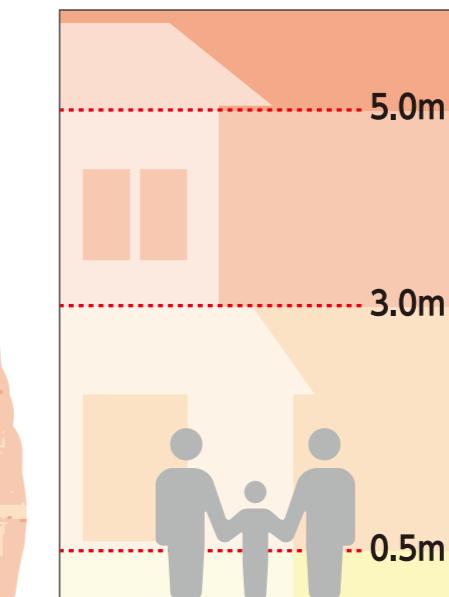
避難所

施設名
① 田富小学校
② 田富南小学校
③ 田富北小学校
④ 田富中学校
⑤ 三村小学校
⑥ 玉穂南小学校
⑦ 玉穂中学校
⑧ 玉穂総合会館
⑨ 中巨摩地区広域事務組合勤労青年センター
⑩ 浅利川ふれあい館
⑪ 大鳥居ふれあいプラザ
⑫ 豊富小学校
⑬ シルクふれんどりい
⑭ 豊富保育園
⑮ 市役所豊富支所
⑯ 関原コミュニティセンター

施設名
株ちばりスイーツパック＆サプライ山梨中央ギフトセンター
株はくばく中央工場
山梨県流通センター
むろい株
株日医工山梨
ホテルルートイン山梨中央
山梨グランドホテル
株シャトレーゼリゾートハケ岳
イツモア玉穂店
山梨中央ロジパーク（富岳通運株）
玉穂けんき村
らくえん俱楽部
らくえん
田富荘
おひさま
ひとふさの葡萄
パンセ
玉穂ケアセンター



●浸水深の目安



凡例

- 洪水・土砂災害・地震時の避難所
- 洪水・地震時の避難所
- 土砂災害・地震時の避難所
- 協力施設^{※1}
- 協力施設(福祉避難所)^{※2}
- 防災備蓄倉庫

最大浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満
- 3.0m以上～5.0m未満
- 0.5m以上～3.0m未満
- 0.5m未満

家屋倒壊等はん濫想定区域
(早期の立ち退き避難が必要な区域)^{※3}

● はん濫流^{※4}

● 河岸侵食^{※5}

土砂災害に関する情報

急傾斜地の崩壊

● 土砂災害特別警戒区域

● 土砂災害警戒区域

土石流

● 土砂災害特別警戒区域

● 土砂災害警戒区域

陸閘^{※6}

*1 災害協定締結先企業が所有する施設。

*2 避難所での避難生活が困難な方（要配慮者）が利用可能な施設。

*3 最上階が浸水するおそれがある場所や、はん濫流・河岸侵食の指定区域など、屋内安全確保が行えない区域。

*4 木造住居が倒壊するような堤防決壊等に伴うはん濫流が発生するおそれのある区域。

*5 家屋が倒壊するような河岸侵食が発生するおそれのある区域。

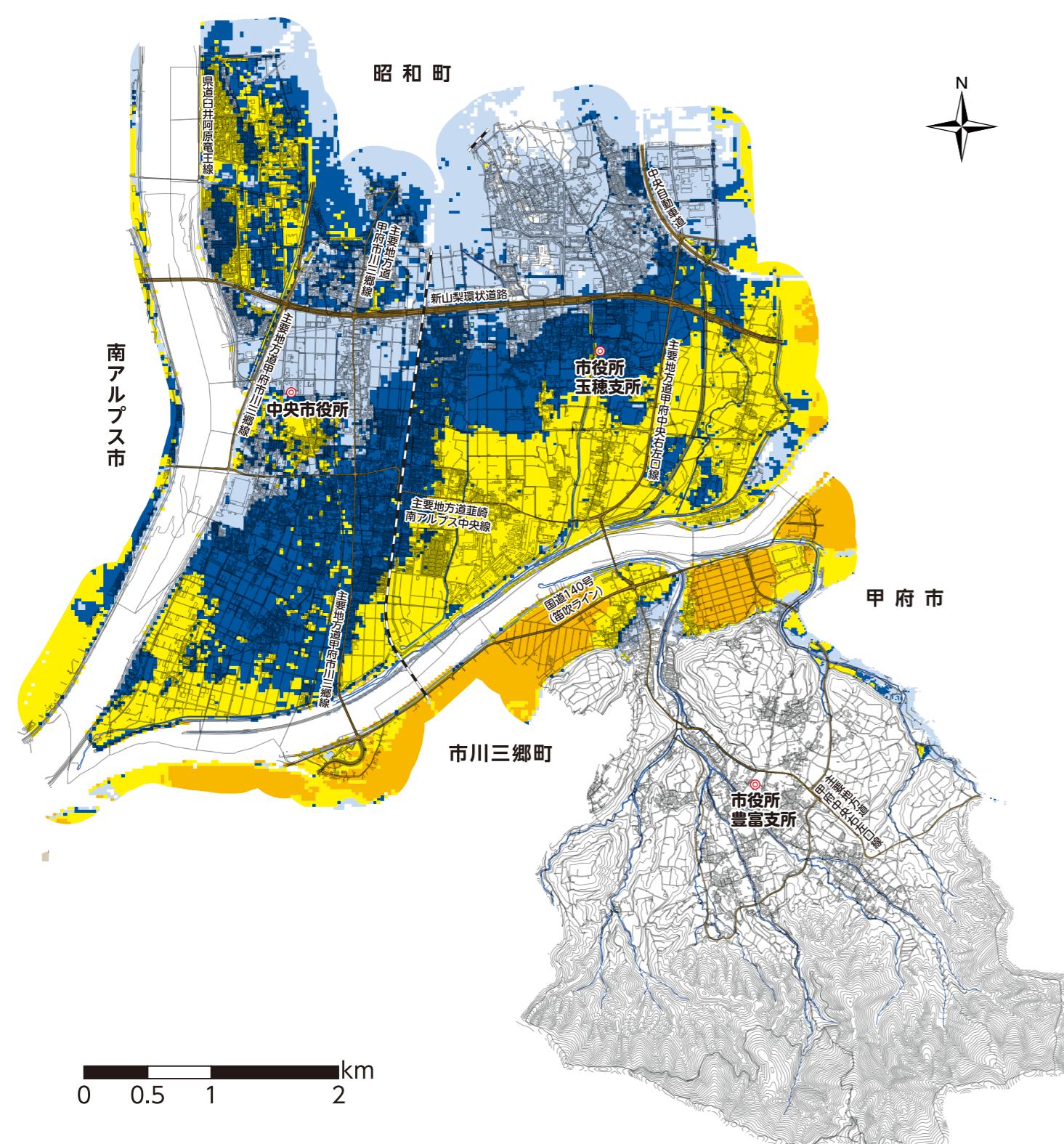
*6 陸閘（りっこう）とは、堤防を通行できるように途切れさせてあり、増水時にはゲート等により塞ぐことのできる施設。

浸水継続時間（想定最大規模）

浸水継続時間とは、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの通算時間です。



● 市役所



警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル 住民の皆さんに取るべき行動 避難情報 警戒レベルに相当する気象庁等の情報

5 命の危険
直ちに安全確保!

緊急安全確保
(市が発令)^{※7}

大雨特別警報
災害切迫

キクイ
大雨警報

はん濫
はん濫

災害情報

警戒レベル4までに必ず避難!

4	危険な場所から全員避難	避難指示 (市が発令)	土砂災害 警戒情報	危険	はん濫 危険情報
3	● 勤労者の避難が難しい高齢者、障がい者、乳幼児、妊娠婦、外国人などはこの段階で避難を開始する。 ● それ以外の人にも必ず面じ、普段の行動を見合わせ、避難の準備を行い自主的に避難する。	高齢者等避難 (市が発令)	大雨警報 洪水警報	警 戒	はん濫 警戒情報
2	● ハザードマップなどで、災害が想定されている区域で避難先、避難経路を確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。	—	大雨注意報 洪水注意報	注意	はん濫 注意情報
1	● 災害への心構えを高める	—	早期注意情報 (警報の可能性)	—	—

※7 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベルは必ず発令される情報ではありません。

水害時の避難の心得

立ち退き避難の場合

集中豪雨や台風により、避難が必要と判断した場合は、避難所だけでなく、安全な場所にある親戚・知人宅や宿泊施設（ホテルなど）に避難するなど、自らの判断で最善の安全確保行動をとることが重要です。

指定された避難所へ

指定された避難所へ避難します。中央市防災マニュアルの避難所一覧(P.28~)を確認し、地区ごとに決められた避難所に避難するようにしましょう。



安全な親戚・知人宅へ

普段から親戚や友人と連絡を取り合い、災害時に避難することを相談しておきましょう。避難する場合は、避難先が安全かどうかを確認しましょう。



安全なホテル・旅館へ

ホテルや旅館に避難する場合でも、通常の宿泊料が必要になります。事前の予約などは早めに行いましょう。



屋内安全確保の場合

室内安全確保をする場合は、以下の内容を確認しましょう。

● 家屋倒壊等はん濫想定区域に入っていない。
● 想定される浸水深より居室が高位置にある。
● 浸水しても電気、ガス、水道、トイレなどが使える、飲料水や食料などが十分にある。

● 土砂災害警戒区域内や早期立ち退きが必要な区域の場合は立ち退き避難が必要です。

● 大雨時にによる行動を事前に確認しましょう。

